



令和4(2022)年6月2日

橋本 由璃愛

梅雨に美しく彩りを添えてくれる紫陽花は、育つ土の性質によって色が変わる不思議な植物です。酸性の土だと青、アルカリ性だと赤色になるそうです。紫陽花を見かけたら、ちょっと注目してみてください。憂鬱な雨の日も、楽しみをつくと心晴れやかに過ごせるかもしれませんね。



6月の保健行事

2日(木)尿検査(3～5歳児)

歯科健診(0～2歳児)

身体計測

10日(金)内科健診(4～5歳児)



～健康診断の結果をお知らせします～

5月のほけんだよりでお知らせした通り、健康診断の結果を順次記入していきます。学校保健安全法施行規則第9条により、健康診断の結果の通知は実施後21日以内と定められています。なるべく早くお知らせしたいと思っておりますが、ご了承ください。

所見があったお子さんには順次、受診勧奨をファスナーケースに入れて(乳児はれんらくノートに挟んで)お渡しします。

※視力検査では、4歳児は園で実施した視力検査の結果が片眼“0.3可”のお子さんに、5歳児は、片眼“0.7可”

“0.3可”のお子さんを対象に受診勧告書をお渡しします。



～爪を切ってください～

5月の保健室来室記録に、“爪がひっかかった”、“爪がわれた”等、“爪”に関する怪我が10件ほどありました。実際に子ども達の爪を見てみると、少し伸びているように感じます。もちろん短く整えられているお子さんもいますが、6月から水遊び等も始まります。爪が伸びていると怪我やトラブルの原因になります。また虫刺されが増える時期になります。伸びた爪で掻くと掻き壊してしまうことがあります。今一度、お子さんの爪のチェックをお願いします。また、あまりにも爪が伸びているお子さんには個別に声をかけさせていただきます。

～お子さんの 目 見えていますか？～

生まれたての赤ちゃんの視力は0.02くらい(明暗がぼんやりわかる程度)、それが1歳頃には0.1程度(輪郭がぼやけて見える)まで発達し、「見る力」は、およそ6歳までに発達するとされています。この急速に発達する時期に何らかの原因で見えにくい状態になると本来あるべき視力よりも低いま(弱視)になることがあります。

子どもは自分で「見えにくい」ことに気づきにくいです。普段のお子さんの姿で、もし気になることがあれば早めに眼科へいきましよう。何事も早期発見が早期治療につながります。

～虫刺されが増えていきます～

今年も蚊が発生する時期が来ましたね。ささはらこども園では、原則として**虫除けスプレーの塗布はいたしません**。(市販されている虫除けスプレーには小さい子どもにはなるべく使用をさけたほうがよいと推奨されている“ディート”という成分が含まれており年齢によって1日の使用回数が制限されていることがあります。)

リング状の虫除けやシールタイプの虫除けも市販されていますが、リスクの観点(紛失、誤飲、事故等)から、園内での使用はご遠慮ください。

ひどく痒みを伝える子どもには、保健室でムヒを塗布します。